



プロジェクト名称

石垣島をもっと元気にするプロジェクト

プロジェクト活動概要

私達は石垣島のサンゴ礁を保全するため、サンゴを脅かす多くの要因のうち赤土流出問題に着目して活動している団体だ。サンゴは生態系の一部であり、様々な生物に恩恵をもたらしてくれる。しかし赤土の畑から海への流出などにより生息しづらくなっている。この問題を解決するために、ひまわり緑肥を始めとした対策を島民の方に呼びかけ、最終的には島民による自発的なサンゴ礁保全が行われることを目指している。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 赤土流出防止対策のひまわり緑肥を普及させるために最低 3 件の農家と継続してひまわり緑肥を行い、ひまわりの作付面積を増加させる。
- ② サンゴ礁保全イベントの総動員数 4 0 0 人以上動員して多くの島民を巻き込んだ活動をする。
- ③ 宣伝活動やヒアリング、アンケート調査等でひまわり緑肥を行いやしい環境作りを目指す。具体的にはヒアリングやアンケートの集計人数 5 0 0 人以上を目指す。

①については、ひまわり緑肥を過去に行ってきた農家 2 件、新しく協力して下さる農家 1 件また、崎枝地域の方達とも協力関係を築いた。さらに、石垣市議会議員の東内原とも子さんと面会し、今後の石垣市におけるひまわり緑肥促進について検討した。

②については、春に行うサンゴ礁保全イベント（ひまわり緑肥イベント）をより島民を巻き込み、大規模な物にするため、崎枝地域の方々や、市役所、石西礁湖サンゴ礁基金、石垣市観光交流協会青年部の方々の協力のもと準備をすすめている。

③については、夏の現地活動で調査を行った。本来の目標は 500 人規模だったが、渡航日数および、①と②の活動の関係上、18 名の農家からヒアリングを行った。

活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2016 年 6 月 20 日 ～ 9 月 30 日

9 月 1 日～9 日にかけて、石垣島へ渡航し、現地活動を行った。それまでの期間は、ミーティングを重ね今後の活動の計画や方針を固めた。9 月 30 日までの当プロジェクトの目標は、①来年の春に実施する「ひまわり緑肥イベント」の準備、及び計画の具体化 ②石垣島の八重山農林高校 2 年生に対する「環境教育」の準備、及び計画の具体化 ③ひまわり緑肥を使った「フォトコンテスト」の計画 ④昨年度実施した、ひまわり緑肥の赤土流出防止効果、及び営農にどのような効果があったのかをヒアリングから検証、である。

これらの目標は、サンゴの白化死滅の要因の一つとなっている、島（農地）からの赤土流出を防止、及び地域活性とう目的の為のものである。

①と②に関しては、夏休みまでに自分たちでイベントの企画書を作成し、活動に協力して下さる団体や学校へ行き、イベントの提案を行った。両企画とも、準備は順調に進んでいる。ひまわり緑肥イベントは昨



年よりもより規模の大きな物になるよう、イベントの内容を崎枝地域の方々と石西礁湖サンゴ礁基金と共に進めている。また備品やひまわりの種代、広報を市役所や石垣市観光交流協会青年部が協力して下さる予定だ。②の高校への観光教育は、ワークショップ形式の授業を予定しており、来年の春に実施する予定となっている。

③に関しては、現状はまだ構想段階ではあるが、石垣島のサンゴ礁保全のためのひまわり畑を、全国規模で周知するための、有効手段の一つとして考えている。これからのミーティングで計画を具体化し、来年の5月6月ごろに実施できればと考えている。

④に関しては、18名の農家へ個々にヒアリング調査を行った。「ひまわりは雑草を抑制する効果がある」「肥料として効果がみられた」という営農に効果的な面があることが18件の農家でみてとれたようだ。また赤土流出量もひまわりが畑に植えられている時期には、流れる量が半分程度に削減できたようだ。今回のヒアリングで、既存の資料での数値だけでなく、現場の声を聞くことができ、今後の石垣市へのひまわり普及の活動に一步前進する事ができた。

他の活動として、サンゴ礁保全の知識を広げるために、環境省サンゴモニタリングセンターへ伺い約2時間程度、サンゴの現状や今後の対策など様々なお話を伺うことができ、また当プロジェクトの活動に対しフィードバックを頂くことができた。またプロジェクトの初期からお世話になっている島民の方々のもとへ挨拶をしに伺い、より一層親睦を深める事ができた。





今後の活動計画、目標、意気込み

私達はこれまでの活動で島民の方との密接な関わりや市とのつながりなどを得られた。

そして今回の渡航では、崎枝の方とサンゴ保全などに関するイベントを共同で開催できるよう話を進めてきた。そのイベント内で当学プロは取り組み続けてきたひまわり緑肥の普及、認知を目指し、ひまわりの種蒔きイベントを行うことにした。このイベントは、農家の方のひまわり緑肥の負担を少しでも軽減することが目的だ。一般の方に楽しく種を蒔いてもらい、なぜ蒔く必要があるのかを知ってもらう。そして今年は大学生という立場を活かしてこのイベントに他大学の学生たちも招き、参加してもらおうとしている。これが実現すれば石垣島におけるサンゴの現状や私達の活動をより広く認知してもらえるようになるだろう。

また、ひまわりの種蒔きイベントで蒔いた種が成長し、花を咲かせる頃にはフォトコンテストを開催しようと考えている。これは、種蒔きイベント時の畑で咲いたひまわりを写真に撮ってもらい、応募してもらうものだ。そこで優秀作品に選ばれた写真の撮影者の方には、その写真をポストカードなどにして贈呈しようと考えている。このコンテストの写真をSNSなどで宣伝することで、石垣島で見られるひまわりが綺麗なこと、そしてそのひまわりが、石垣島の観光資源であるサンゴの保全に役立っていることなどを全国的に広めていけると思う。